

## 資料

## 学会参加報告: East Asian Forum of Nursing Scholars @2024

小森直美<sup>1</sup>

この度, 3 月 7 日から 8 日まで香港大学に於いて **Generating Impact Through Doctoral Nursing Education** をテーマに開催されました, 第 27 回東アジア看護学研究者フォーラム (27th East Asian Forum of Nursing Scholars) に参加させていただきました。

私は, 日本学術振興会科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金 課題番号: 20K11065) を受けて, 2020 年から「医療的ケア児のための居場所支援『訪問看護ステーション療養通所介護』の試行と評価」という研究を行っております。今回, この研究で得られた成果を「**A study on temporary care for children with medical complexity at visiting nursing stations**」という演題で発表してまいりました。

医療的ケア児 **children requiring complex medical care** (以下, CMC) が地域社会に融合しながら生活して行く「地域共生社会」の構築のためには, 訪問看護ステーションという新たな CMC の居場所が必要であるという研究結果を, データから導き出し発表してまいりました。CMC が年々増加しているという課題は, 日本に留まらず世界的な課題であること, 少子高齢化に続く社会的問題となり得ることについて, 日本をはじめ香港, 韓国, タイ, フィリピン, 台湾, シンガポールの研究者らとディスカッション

でき, とても有意義な会議となりました。また, 2024 年 4 月からは新たに日本学術振興会科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) を受け, 「訪問看護師による医療的ケア児の保護者のためのセルフ・コンパッションの実践と評価」の研究に着手することが決定いたしました。これからは CMC の保護者のためにも, 研究に精進していきたいと心新たにする機会となりました。

最後になりますが, 学会参加にあたり, ご理解ならびにご支援を賜りました荒賀学長, 北岡学部長をはじめ関係者の皆さまに心より深謝申し上げます。

